

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 宮田 昌彦
 (東証第一部・名証第一部 コード番号:7747)
 問合せ先 取締役 管理本部長 伊藤 瑞穂
 (TEL. 0561-48-5551)

2020年6月期 業績予想と配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、業績の動向等を踏まえ、2019年8月9日の「2019年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しておりました2020年6月期通期の連結業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年6月期 連結業績予想の修正 (2019年7月1日～2020年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益(円) ※1 |
|----------------------------|--------|--------|--------|-------------------------|-------------------------|
| 前回発表予想(A) (2019年8月9日公表) | 63,864 | 15,369 | 15,373 | 11,310 | 43.46 |
| 今回修正予想(B) | 56,207 | 11,940 | 11,965 | 8,977 | 34.48 |
| 増減額 (B-A) | △7,656 | △3,429 | △3,408 | △2,332 | △8.98 |
| 増減率(%) | △12.0% | △22.3% | △22.2% | △20.6% | △20.7% |
| (ご参考) 前期実績(2019年6月期) | 57,216 | 15,168 | 14,833 | 11,237 | 43.29 |

(金額の単位:百万円)

※1 : 1株当たり当期純利益につきましては、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。

(2) 修正の理由

第2四半期連結累計期間の売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、売上高の増加や、販売費及び一般管理費の使用の遅延を主要因とし、当初予想に比べて好調に推移いたしましたが、第3四半期会計期間中より、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、血管内カテーテル治療件数がグローバル規模にて減少傾向にあるなどにより、売上高が減少する傾向にあります。

なお、この症例数の減少の背景には、血管内カテーテル治療のうち、緊急性が高い症例のみ治療を行い、待機が可能な症例については治療が延期されることから、一時的に症例数が減少している事情があります。よって、新型コロナウイルスの影響が収まれば、この延期された待機症例の大半が治療されることが予想され、当社の中長期的な成長性に大きな影響は無いものと推測しております。

営業利益におきましては、販売費及び一般管理費が、第2四半期累計会計期間までの未使用に加えて、新型コロナウイルスの影響による医療学会の中止や、病院などへの営業活動の禁止などから、営業コストを中心に減少するものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少により、減少する見込みです。

経常利益におきましては、為替差損が減少するものの、営業利益の減少により減少する見込みです。

当期純利益におきましては、補助金収入が増加するものの、経常利益の減少や営業補償金の発生により、減少する見込みです。

以上の結果、2020年6月期の連結業績予想の売上高、営業利益以下各利益が前回発表予想を下回る見込みとなりましたので、上記の通り連結業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

| | 年間配当金 | | |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (2019年8月9日公表) | | 10円87銭 | 10円87銭 |
| 今回修正予想 | | 8円62銭 | 8円62銭 |
| 当期実績 | 0円00銭 | | |
| 前期実績※2 (2019年6月期) | 0円00銭 | 10円81銭 | 10円81銭 |

※2：年間配当金につきましては、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として認識し、配当を安定的に継続して実施することを基本方針としております。配当金額につきましては、連結配当性向25%を目処にしつつ、長期的な視野のもと、当期の連結業績、今後の業績見通し、内部留保の水準などを総合的に勘案しながら算出しております。

しかしながら、上述の下方修正や、新型コロナウイルスのグローバル規模での感染拡大について、終息の見通しが大変困難なことから、現時点におきましては手元資金を確保しておくことで経営の安定化に備えることが、株主共通の価値に繋がるものと考えます。

つきましては、2020年6月期の期末配当予想につきましては、大変僭越ながら、直近の配当予想10円87銭から2円25銭減配し、8円62銭（配当性向25%）に変更させていただきます。

なお、配当の最終的な決定は、通期業績の決算確定後に、改めて実施させて頂く予定でおります。

※業績予想に関する留意事項

上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以上